

都道府県名：神奈川県

【経営の概要】

ガラス温室におけるバラの切り花生産。生産規模約2,000㎡。

【対策の内容】

バラの切り花栽培において、冬季加温秋～春切り栽培から、無加温春～秋切り栽培への移行。12月上旬頃まで切り花を収穫し、その後剪定を行う。3月頃から芽が動き始め、4月下旬～5月上旬に剪定後1回目の収穫期となる。芽、枝の整理をしながら12月上旬まで収穫を続ける。

【対策の実践効果】

従来の作型では、10月～5月に夜温18℃設定で加温するため、10a当たり33,000ℓ程度のA重油を使用するのに対し、無加温の作型では燃料を全く使用しない。従って暖房に要する重油価格分の経費削減となる。

ただし、収量は従来の作型より少なくとも2～3割は減少すると見られ、また12月、3月の需要期に収穫できず、需要の少ない夏季に収穫される切り花の割合が多くなるため、一般に粗収入は相当少なくなる。

【今後の課題】

このような作型が県内で増加しているが、収穫時期が集中するため、整枝法等を工夫して収穫の分散を図ることが必要である。

【問い合わせ先】

神奈川県農業技術センター普及指導部 電話：0463-58-0333

